



中北小学校 学校だより

そ っ た く き

啐啄の機 No. 3

令和3年6月10日(木)

上天草市立中北小学校

文責：横山

「一人一人が全力を出し切り、みんなの思い出に残る運動会」

5月23日(日)、澄み切った青空のもと、令和3年度中北小学校運動会を開催いたしました。連日の雨天続きで、なかなか練習もままならない状況でしたが、子ども達は今年のスローガン「一人一人が全力を出し切り、みんなの思い出に残る運動会」のとおり、演技に競技に全力で取り組みました。開閉会式での凛とした姿、歯を食いしばり、最後まで全力で走る姿、思いを込めた表現豊かなダンスや演舞など、子ども達の姿をみて、改めて、「一生懸命な姿は美しい」と思いました。この2週間あまりの練習を通して、低学年は自分のやるべきことをきちんとやり遂げる態度が、高学年は自分のことだけでなく、周りをよく見て、みんなのために行動する態度が身に付いてきました。子ども達の成長をととてもたのもしく思います。

コロナ禍の上に、記録的に早い梅雨入りという厳しい状況の中、職員は日々、アイデアを出し合いながら、柔軟に状況に対応しながら練習に取り組んでまいりました。そこには、「運動会に向けての練習の過程を通して、子どもを伸ばしたい」という思いがありました。子ども達もその期待に応え、1回1回の練習に全力で取り組んでいました。その努力の積み重ねが、当日のすばらしい姿となって現れたのだと思います。今後も「全ては子どものために」を合い言葉に、子ども達一人一人がさらに成長できるよう、日々の教育活動に取り組んでいきます。

最後になりましたが、保護者の皆様には、前日の準備から当日の応援、最後の後片付けまで大変お世話になりました。また、感染拡大防止のための、受付や参観者の縮小等にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お陰様をもちまして、とてもすばらしい運動会となりました。ありがとうございました。



プール掃除

5月31日(月)に、1年生から6年生までの全児童でプール掃除を行いました。低学年は更衣室とトイレ、中学年はプールサイド、高学年はプールの中と、それぞれの持ち場に分かれて作業を行いました。少ない人数ですので、一人一人のがんばりが大きな力となります。この日は梅雨の中休みの厳しい暑さの中でしたが、運動会で培った「全力」で取り組む姿勢をプール掃除でも発揮して、きれいに磨き上げました。さすが中北っ子です。

この後、みんなできれいにしたプールに水を張り、プール開きを迎えます。新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、安心・安全に十分に気を付けて水泳の授業に取り組んでいきます。



緊急対応訓練

6月2日(火)に職員研修として、天草広域連合北消防署より3名の講師の方々をお招きし、救急対応訓練を行いました。まずは、6月からプールでの授業が始まるということで、心肺蘇生法の訓練を行いました。消防署の方から呼吸確認の仕方や心臓マッサージの仕方などについてレクチャーを受け、訓練用の人形を使って実技訓練を行いました。

次に、救急搬送訓練を行いました。体育の時間が終わって、教室に戻り着替えをしているときに児童が倒れたという想定で、事故発生から救急車で搬送するまでの職員の動きについてシミュレーションを行いました。その後、消防署の方より、対応について具体的に指導をしていただきました。

学校は大切なお子さんの命を預かっています。全職員が真剣に研修に取り組みました。安心・安全な学校をめざし、まずは事故防止に全力で取り組んでいきます。



児童集会 ～環境・放送委員会～

6月8日(火)に児童集会を行いました。この日は環境・放送委員会の発表でした。まずは委員会のテーマの発表でした。今年のテーマは「お花に水をやったり、雑草をぬいたりして、環境を大切にしよう」です。次に全校のみんなが環境について楽しく学べるようにと、委員会のメンバーで考えた環境クイズを行いました。中には難しい問題もありましたが、みんな真剣に考えていました。最後に担当の森下先生より、「学校版環境 ISO」や「SDGs」についての話がありました。「何のために環境を大切にするのでしょうか。それは、みんながくらしやすいようにするためです。」というところで、みんな大きく頷いていました。

環境問題への取り組みは、小さな日々の積み重ねが、大きな力となります。子ども達は、環境・放送委員会の発表を通して、環境問題を「自分事」として考えてくれたようです。

